

2022年2月10日

報道関係各位

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

『アートが起こすイノベーション』『これからのエネルギー』をテーマに2日間開催
大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会シンポジウム
FACE 対面すれば、生まれる未来。

2022年3月2日（水）、4日（金）
各日：16時30分～18時00分 ※オンライン開催



大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり3団体^{*1}の1つである一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（以下 大丸有協議会）は、毎年開催しているシンポジウム「FACE 対面すれば、生まれる未来。」を本年も3月2日（水）と4日（金）の2日間にわたり、オンライン無料配信にて開催いたします。

当協議会の設立から30周年を記念して2019年よりスタートし、今回で3回目となる本シンポジウムでは、大丸有地区のまちづくりの課題や展望についてパネルディスカッション形式で議論。今回はアートや都市環境対策など幅広い分野からゲストを招き、建築や都市計画の枠を超えたまちづくりの新しいアイデアや価値に対する認知を深め、今後の可能性を探っていきます。

2日（水）は「有楽町からはじまるアートアーバニズム宣言」をテーマにビジネスセンターとアーティストの共創を、4日（金）は「国際ビジネス拠点におけるカーボンニュートラルへの挑戦と意義」をテーマに脱炭素への都市ビジョンを話し合います。

今回はパネリストとして、2日（水）は文化政策研究者の太下義之氏、パノラマティクスを主宰する齋藤精一氏や建築家の永山祐子氏、また4日（金）は、東京大学先端科学技術研究センター研究顧問の小林光氏（元環境事務次官）や、千代田区長の樋口高顕氏^{*2}など、先進企業の最前線で活躍される方々にご登壇いただきます。

(*1) 「一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（大丸有協議会）、NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ）、一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツヴァア協会）」の3団体は連携して大丸有地区のまちづくりを推進しています。

(*2) 「樋」の漢字は、「木へん」に「一点しんによう」ですが、環境依存文字による文字化けを防ぐため、本資料では、「木へん」に「二点しんによう」の漢字を使用しています。

イベント概要

- 【名称】 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会シンポジウム
「FACE 対面すれば、生まれる未来。」
- 【内容】 大丸有地区の「これからのまちづくり」をテーマに、都市の課題について、未来に向けた議論を行います。
- 【開催日時】 3月2日（水）、4日（金）16:30～18:00
- 【主催】 一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
- 【協力】 3×3 Lab Future
- 【開催方法】 一般募集 オンライン無料配信
- 【申込】 事前申込制 ※参加費無料 (<https://face-omy.jp/>)

プログラム

3月2日（水） 16時30分～18時00分

有楽町からはじまるアートアーバニズム宣言

コロナ禍のなか、普遍的システムと思われたグローバル資本主義に転機が訪れているようです。そのような世界の価値転換を見据え、世界的なビジネスセンターである大丸有エリアは「ビジネスの集積地」のみならず、「アート活動の拠点」となることに挑みます。

「アートアーバニズム」という言葉を、「同時代を生きる、アーティストやクリエイターと共に街を深化させる活動」と定義し、有楽町から始動します。創造力ある尖った人材が街の中で活動すること。多様な企業や人々が出会い、それぞれの視点や感性を共有することで、イノベーションを起こしていくこと。このようなエコシステムが東京の国際競争力を高めていくという仮説をたてた、実証実験でもあります。

本プログラムでは、「アートアーバニズム」のヒントを研究者・クリエイター・建築家・デベロッパーの視点から語り合い、世界の潮流を語りながら考えます。

- 【登壇者】 太下 義之 氏 （文化政策研究者、同志社大学経済学部教授）
齋藤 精一 氏 （パノラマティクス主宰）
永山 祐子 氏 （建築家、永山祐子建築設計主宰）
井上 成 氏 （三菱地所 エリアマネジメント企画部担当部長）

3月4日（金） 16時30分～18時00分

国際ビジネス拠点におけるカーボンニュートラルへの挑戦と意義

大丸有地区では、2021年8月～2022年2月にかけて「大丸有エネルギーエリアビジョン委員会」（有識者委員会）を開催。世界中で脱炭素が叫ばれる中、当地区のエネルギービジョンはどのような将来像を描くべきか、持続的なまちづくりによる実現に向け何をすべきかを議論してきました。

本プログラムでは、同委員会の委員長を務めた小林光氏から委員会で展開された議論をご紹介いただくとともに、地元自治体である樋口千代田区長や地元地区の先進取り組み企業からのパネリストを招き、大丸有地区におけるカーボンニュートラルなまちづくりについてディスカッションしていきます。

- 【登壇者】 小林 光 氏 （東京大学先端科学技術研究センター研究顧問）
樋口 高顕 氏 （千代田区長）
* 大丸有地区の先進取り組み企業のご担当者も登壇予定
重松 眞理子 氏 （当協議会都市政策部会長 兼 スマートシティ推進委員会委員長）
* モデレーター

【ご参考】大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり3団体について

大丸有地区は、公民協調によるサステイナブル・ディベロップメントを通じて、約120haのまち全域で「新しい価値」「魅力と賑わい」の創造に取り組んでいます。

大丸有まちづくり協議会を中心に公民でまちの将来像を合意し、リガーレが賑わいや都市観光を促進、エコツェリア協会が社会課題の解決や企業連携によるビジネス創発を具体化しています。

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区 まちづくり協議会 (大丸有まちづくり協議会)

再開発・街づくり・地権者合意形成

大丸有地区の地権者を会員とし、エリアの付加価値を高め、東京の都心において持続的な発展に向けた取り組みを行っています。



一般社団法人 大丸有環境共生型 まちづくり推進協会 (エコツェリア協会)

サステイナビリティ/Research & Development/環境共生

「経済」「環境」「社会」がバランスよく共存するまちを目指して、大丸有地区に集う企業・就業者のコミュニティ形成や、次世代への持続可能なビジネス創発に取り組んでいます。

NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会 (リガーレ)

エリアマネジメント運営

道路を始めとした公的空間の活用や、交流・環境などの活動を通じて、大丸有地区のブランド向上に取り組んでいます。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

大手町・丸の内・有楽町地区街づくりPR事務局 共同ピーアール(株)PRアカウント本部9部 担当：内山・前山・高橋
TEL：070-4303-7327/070-4303-7311 FAX：03-6260-6653
E-mail：tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp

本資料は本日付で国土交通記者会・国土交通省建設専門紙記者会へお届けしています。